

駅における視覚障害者誘導用ブロックの輝度比の測定方法

大野央人 鈴木綾子 秋保直弘

弱視者は残存視力で視覚障害者誘導用ブロック（以下、ブロック）を見ながら歩くため、視認性はブロックの重要な機能です。ブロックの視認性には周囲面との輝度比が大きく影響し、将来的には指針類に輝度比の数値目標が盛り込まれる可能性があります。数値目標を運用するためには輝度比を正確に測定する方法が不可欠ですが、駅には輝度比の測定に外乱となる事象も存在します。本研究では、駅の環境条件を踏まえてブロックと周囲面の輝度比の測定方法を整理し、実測調査でその妥当性を検証して、測

定マニュアルを作成しました。この測定マニュアルは測定器や測定点の選定(図)など7項目から成り、駅的设计・施工担当者に使って頂くことを想定しています。

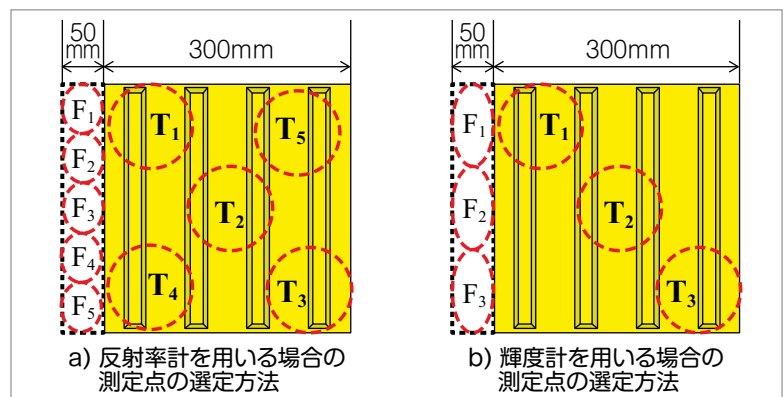


図 測定マニュアルに示された測定点の選定方法